

# 令和6年度 福島市立平田小学校経営・運営ビジョン



## 《教育目標》

自分で考え 力を合わせ 夢に向かって 最後まで

### 《地域の願い》

- ・元気なあいさつを続けてほしい。
- ・平田のよさをたくさん知ってほしい。
- ・明るく、たくましく育ってほしい。
- ・平田っ子の成長を支えたい。

## 令和6年度 目指す児童の姿

- 自分の考えをもち表現する子ども
- 仲間と協働する子ども
- 「なりたい自分」を追究する子ども
- 粘り強く努力する子ども

### 《教師の願い》

- ・「学びに向かう力」を身に付けてほしい。
- ・豊かな人間性を身に付けてほしい。
- ・健康でたくましく育ってほしい。
- ・自分のよさや持ち味を伸ばしてほしい。

### 《保護者の願い》

- ・しっかりとあいさつの出来る子になってほしい。
- ・思いやりのある子になってほしい。
- ・失敗を恐れず何事にも挑戦してほしい。
- ・友達との関わりを大事に、助け合える子になってほしい。

### 《子どもの願い》

- ・勉強をわかりやすく教えてほしい。
- ・平田のことをたくさん知りたい。
- ・友達となかよく関わりたい。
- ・安心して楽しく過ごしたい。

## 令和6年度 重点事項

### 確かな学力の定着

- 学ぶ意欲を高める授業の充実
  - ・主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善（授業ファイトと指導ファイト）
  - ・言語活動を重視した授業展開
  - ・指導と評価の一体化を目指す授業実践
- ・「福島型オンライン授業」の推進
- ・豊かな自然体験活動の実施
- 校内研修の充実
  - ・個別最適な学び、協働的な学びの追究
  - ・タブレット等を活用した授業実践
  - ・情報リテラシーを育む実践
- 基礎的読解力・活用力の育成
  - ・リーディングスキルの視点を生かした授業実践
  - ・読書活動の充実（クローバータイム、学校図書館の活用等）
  - ・基礎を固めるクローバータイムの実施
  - ・学期末漢字・計算コンクールの実施
  - ・AIドリルの効果的活用

#### 《評価の機会》

- 学級マイプランによる学期ごとの評価
- 単元テスト、活用力育成シートによる評価
- NRT標準学力テスト（国語・算数）、全国学力・学習状況調査、ふくしま学力調査による評価
- 児童の意識調査（各種アンケート）
- 保護者・学校評議員による学校評価

### 思いやりの心の育成

- あいさつや思いやりの実践について指導の充実
  - ・あいさつ強化月間（年3回）
  - ・「ありがとう掲示板」の充実（月1回の放送）
  - ・感謝の手紙（礼状等）の発信
- 道徳科の授業の充実
  - ・授業の公開
  - ・家庭や地域社会との連携
- 異学年交流活動の充実
  - ・異学年による縦割り班清掃
  - ・行事、集会等の縦割り活動
- 自治的活動の充実
  - ・自発的な児童会活動
  - ・児童会活動によるいじめ予防
  - ・SDGsの視点を考慮した活動

#### 《評価の機会》

- 学級マイプランによる学期ごとの評価
- 児童の意識調査（各種アンケート）
- 保護者・学校評議員による学校評価
- 交流先や関係機関による感想・評価

### たくましい心と体の育成

- 運動の習慣化を図る時間や場の確保
  - ・「走れ走れタイム」の実施
  - ・「なわとびタイム」の実施
  - ・体育の授業「運動身体プログラム」の実施
- 自己管理能力（健康・体力）の育成
  - ・感染症拡大防止対策、指導の継続
  - ・家庭と連携した健康観察（リーバーの活用）
  - ・担任と養護教諭のT・Tによる健康指導
  - ・放射線に関する基礎知識を活用し、放射線から身を守る実践力の育成
  - ・「自分手帳」による自己の健康・体力課題の把握
- 家庭・関係機関と連携した教育活動の展開
  - ・学校保健委員会の活性化（基本的生活習慣の確立・う歯予防・学校医との連携）
  - ・学校歯科医・学校薬剤師と連携したフッ化物洗口の実施
  - ・栄養教諭と連携した「食に関する指導」

#### 《評価の機会》

- 学級マイプランによる学期ごとの評価
- 新体力テストによる評価、カードを活用した自己記録の更新状況確認
- 児童の意識調査・生活習慣に関する調査（各種アンケート）
- 保護者・学校評議員による学校評価

## 地域に信頼される学校づくりの実現

### 【安全・安心な学校づくり】

- 児童の事故防止：交通教室・防犯教室・避難訓練（地震・火災・吾妻山噴火）等の充実
- 学校事故防止：安全点検の充実
- 教職員の不祥事絶無：服務倫理委員会の充実
- 放射線教育の実施
- 感染症拡大防止対策、指導の継続

### 【ふるさと教育・体験活動の充実】

- 地域素材を積極的に活用した体験活動の推進
- ・「育てたい力」の獲得に必要な活動の明確化→全学年、年間計画を見通した「体験活動実施計画」の作成と実践
- ・「ふくしま・ふれあい・夢・ぶん」事業の充実
- ・地域ボランティアの発掘と累積

### 【開かれた学校づくり】

- 積極的な情報発信
  - ・学校便り「かけはし」（月1回）・学級だより（月1～2回）
  - ・福島市学校ポータルサイト（日1～2回）
- 学校経営説明の場の設定：PTA総会（4月）、フリー参観（11月）、PTA全体会（3月）
- 学校評議員会の開催（6月、2月）
- 「ひらサポ」活動（随時）

### 【子どもの11年間にわたる成長を見通した幼・保・小・中接続事業の推進】

- 信夫中学校・隣接する小学校との児童・教職員の交流推進
- ・幼・小・中相互の積極的な情報交換と継続的な指導の推進。
- ・合同研修・合同生徒指導協議会の実施。
- 小1プロブレム防止のための対策推進